

## 理事長挨拶

【会 場】 メインホール

2016年11月19日（土） 10：00～10：15

日本LD学会の魅力と可能性（3）

講師	柘植 雅義	筑波大学
司会者	漆澤 恭子	植草学園短期大学

※文字通訳あり



### 【趣旨】

2014年6月に理事長に就任して以来、毎年、日本LD学会の魅力と可能性についてお話ししています。

日本LD学会の会員数は、継続して増加傾向にあり、この4月の時点で9000名に迫る勢いで、この分野の学術学会では最大規模です。さらに、広く、教育学や心理学関連の学術学会全体からみても、いくつかの学会と並んで最大規模です。それだけに、例えば、50ほどの心理学系の学術学会の連合体である日本心理学諸学会連合においても、日本LD学会には大きな期待が寄せられています。

学会設立から25年が経過し、このように急速に大きく成長した背景には、このLD学会がとても魅力的な学会であり、いろいろな可能性を秘めているからだと思います。そして、毎年、全国各地のどこかで開催される年次大会は、何と居心地の良い大会でしょう。たとえ知らない人々同志であっても、LDを始め広く発達障害に関わる教育、心理、医療、福祉、労働等という共通項、LD学会員という共通項により、一体感が生まれ、大会期間中、豊かで有意義な時間が過ぎていくのを感じます。そして、ポスター発表も、シンポジウムも、講演会も、実に先進的で、躍動的で、活発な未来志向のディスカッションがなされています。

このような日本LD学会を、もっともっと魅力的な学会にしていくために何ができるか、そして、また、さらなる飛躍の可能性について、皆さんと一緒に考えていく機会としたいと思います。

### 【略歴】

柘植 雅義（つげ まさよし） 筑波大学教授（人間系 障害科学域 知的・発達・行動障害学分野）  
1958年生まれ。愛知教育大学大学院、筑波大学大学院で学び、筑波大学より博士（教育学）。名古屋市公立学校教員、国立特殊教育総合研究所研究員・主任研究官・研究室長、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）客員研究員、文部科学省特別支援教育調査官（発達障害担当）、兵庫教育大学教授、国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員・教育情報部長・発達障害教育情報センター長を経て、2014年4月より現職。2014年6月より、一般社団法人日本LD学会理事長。IARLD(International Academy for Research in Learning Disabilities), Editorial Review Board. 内閣府障害者政策委員会委員。文部科学省中央教育審議会教育振興基本計画部会委員。

柘植雅義（2013）「特別支援教育 -多様なニーズへの挑戦-」中公新書、中央公論新社。柘植雅義（2002）「学習障害(LD)-理解とサポートのために-」中公新書、中央公論新社。柘植雅義・緒方明子・佐藤克敏監訳（2012）「アメリカのIEP」中央法規。柘植雅義・葉養正明・加治佐哲也監訳（2013）「エビデンスに基づく教育政策」勁草書房。